

わが家の防災メモ

あらかじめ記入し、
家族みんながわかる
ところに置いておき
ましょう。

火事・救急
119番

警 察
110番

災害用
伝言ダイヤル
171番

▶使い方は、15ページを
参照してください。

避難の際に知っておくべき5つのポイント

- 避難とは[難]を[避]けること。安全な場所にいる人
ま で避難所等に行く必要はありません。
- 避難先は、小中学校・公民館ではありません。安
全な場所にある親戚・知人宅に避難することも考えて
みましょう。
- マスク・消毒液・体温計は、できるだけ自ら携行しましょう。
- 草津市が指定する避難所等が変更・増設されている
可能性があります。災害時には市ホームページ等
で確認しましょう。
- 豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむをえ
ず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況
等を十分確認しましょう。

●緊急連絡先

連絡先	電 話	連絡先	電 話
草津市役所	077-563-1234	関西電力送配電 滋賀支社	0800-777-3081
西消防署	077-568-0119	大阪ガス 京滋事業部 (ガス漏れなど)	0120-8-19424
南消防署	077-564-4951		
草津警察署	077-563-0110		
水道お客様センター	077-561-2441		

●家族の連絡先

家族の名前	連絡先 (勤務先・学校)	家族の名前	連絡先 (勤務先・学校)

●親戚・知人の連絡先

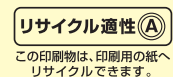
名 前	電 話	名 前	電 話

●家族のデータ

名 前	生年月日	血液型	アレルギー	持 病	常備薬

●避難場所・集合場所

一次集合場所	広域避難所	家族の集合場所
電話：.....	電話：.....	電話：.....

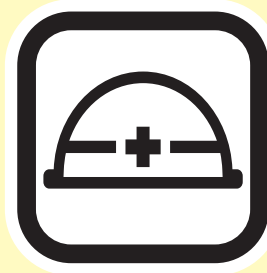


禁無断転載 ©東京法規出版
X15

保 存 版

草 津 市

防 災 ハンドブック



広げよう助け合いの輪
高めよう防災力



草津市観光マスコットキャラクター 「たび丸」
湖南広域消防局キャラクター 「ライくん」&「レイちゃん」

スマホやタブレットで読めます。 **デジタルブック**
QRコード
○文字サイズ拡大、自動音声読上げ
○5つの言語で読める・聞ける (音声読上げ対応)
【Automatic Translation】
英語 (English)、中国語 (簡体字 (简体中文))、韓国語 (한국)、
ポルトガル語 (Português)、スペイン語 (Español)
※デジタルブックの使い方については、P5を参照してください。

草 津 市

草津市 避難所 MAP

2022 年 4 月現在情報

避難所施設一覧

まちづくりセンターなど比較的小規模な市の施設を対象にしています。広域避難所を補完する避難所として位置づけおり、小規模な避難や、比較的短い期間の収容施設として規定しています。大規模災害では、まず広域避難所を開設し、地域の状況に応じて、避難所を開設します。

番号	名称	所在地
①	志津まちづくりセンター	青地町 561
②	志津南まちづくりセンター	若草 5 丁目 10
③	草津まちづくりセンター	草津 1 丁目 4-33
④	大路まちづくりセンター	大路 2 丁目 9-11
⑤	矢倉まちづくりセンター	東矢倉 2 丁目 13-6
⑥	老上まちづくりセンター	野路町 520
⑦	老上西まちづくりセンター	矢橋町 526-1
⑧	玉川まちづくりセンター	野路 9 丁目 7-42
⑨	南笠東まちづくりセンター	笠山 1 丁目 1-47
⑩	山田まちづくりセンター	南山田町 678
⑪	笠縫まちづくりセンター	上笠 1 丁目 6-3
⑫	笠縫東まちづくりセンター	集町 58-8
⑬	常盤まちづくりセンター	志那中町 111-1
⑭	渋川まちづくりセンター	西渋川 2 丁目 9-38
⑮	志津こども園	青地町 845
⑯	草津中央おひさまこども園	草津 3 丁目 13-10
⑰	たちばな大路こども園	大路 2 丁目 1-55
⑱	矢倉こども園	矢倉 2 丁目 5-21
⑲	老上こども園	矢橋町 4
⑳	玉川こども園	野路 9 丁目 6-63
㉑	山田こども園	南山田町 672-2
㉒	笠縫こども園	上笠 1 丁目 6-1
㉓	笠縫東こども園	平井 3 丁目 8-2
㉔	常盤こども園	志那中町 278
㉕	草津第二保育所	草津町 1350
㉖	第三保育所	橋岡町 202
㉗	第四保育所	芦浦町 310-1
㉘	矢橋ふたばこども園	矢橋町 888-1
㉙	西一会館	草津町 1446-1
㉚	西一教育集会所	草津町 1446-1
㉛	橋岡会館	橋岡町 71
㉜	橋岡教育集会所	橋岡町 68
㉝	新田会館	木川町 898-3
㉞	新田教育集会所	木川町 898-15
㉟	常盤東総合センター	芦浦町 319-1
㊱	芦浦教育集会所	芦浦町 319-1

広域避難所一覧

被災者が一定期間の仮住まいをする施設として想定しており、多くの被災者を受け入れることができる施設です。災害時には、必要な物資の提供等を受けることができます。

(注)※ は、ヘリコプター発着場所

番号	名称	所在地
①	志津小学校	青地町 827
②	高穂中学校 ※	追分 7 丁目 6-1
③	テクノカレッジ草津	青地町 1093
④	志津南小学校	若草 2 丁目 16-2
⑤	草津小学校 ※	草津 3 丁目 14-5
⑥	草津中学校	草津 2 丁目 16-8
⑦	湖南農業高等学校	草津町 1839
⑧	ふれあい体育館	草津町 1486-1
⑨	草津第二小学校	大路 2 丁目 7-62
⑩	渋川小学校	西渋川 2 丁目 8-55
⑪	草津東高等学校	西渋川 2 丁目 8-65
⑫	綾羽高等学校	西渋川 1 丁目 18-1
⑬	矢倉小学校	矢倉 2 丁目 5-50
⑭	老上小学校	野路町 517
⑮	老上西小学校	矢橋町 508-1
⑯	老上中学校 ※	矢橋町 7-1
⑰	光泉カトリック中学・高等学校	野路町 178
⑱	玉川小学校	野路 9 丁目 6-12
⑲	玉川中学校	野路東 3 丁目 3-18
⑳	玉川高等学校	野路東 3 丁目 2-1
㉑	草津クリアホール	野路 6 丁目 15-11
㉒	南笠東小学校	南笠東 4 丁目 4-1
㉓	山田小学校	北山田町 350
㉔	草津高等学校	木川町 955-1
㉕	武道館	南山田町 683
㉖	笠縫小学校	上笠 1 丁目 6-2
㉗	松原中学校	下笠町 110
㉘	総合体育館	下笠町 161
㉙	YMIT アリーナ (くさつシティアリーナ)	野村 3 丁目 3-27
㉚	笠縫東小学校	平井 3 丁目 8-1
㉛	新堂中学校	新堂町 111
㉜	常盤小学校 ※	志那中町 119

福祉避難所一覧

介助が必要な高齢者や障害者、妊産婦等災害時要援護者に配慮した避難所。草津市においては、大災害時、災害時要援護者は最寄りの広域避難所に避難していただき、その後、市の要援護者支援班の誘導で、福祉避難所に避難することになります。

番号	名称	所在地
①	なごみの郷	志那町 2552
②	長寿の郷ロクハ荘	追分 7 丁目 11-1
③	市立障害者福祉センター	西渋川 2 丁目 9-38
④	市立発達支援センター	西渋川 2 丁目 9-38



避難所マップ

情報伝達手段等

地震対策

風水害対策

自主防災

避難所 MAP

草津市避難所 MAP2

情報伝達手段等

草津市の情報伝達手段4

デジタルブックサービスガイド5

地震対策

日本は世界有数の地震国6

地震が起きたらどうするか？7

・屋内にいる場合8

・屋外にいる場合10

・乗り物に乗っている場合11

地震にどう備えるか？12

・地震に強い家をつくろう12

・家の内外の危険箇所をチェックしよう13

・家具の転倒・落下を防止しよう14

家族で話し合っておくことは？15

マンションの安全対策16

大きな地震が起こったら18

在宅避難の心得20

地震対策・風水害対策

災害発生時の行動チャート22

いざというときのための避難に関する知識24

風水害対策

自然の脅威、風水害。気象の変化に警戒を！26

・大雨による主な災害26

・警戒レベルと避難に関する情報27

・危険な場所を覚えておこう！27

危険は急激に迫ってくる28

風水害にどう備えるか？30

マイ・タイムラインを作ってみよう32

マイ・タイムライン記入シート34

自主防災

防災対策は地域みんなで！36

平常時にすべきことは？37

災害時にすべきことは？38

・災害時要援護者登録制度で地域に新たな絆を39

草津市の地域防災の取り組み40

草津市の情報伝達手段

●草津市安全安心メール

災害情報メールとして、市内で、大規模災害が発生した場合や、その恐れのあるとき、避難情報や土砂災害警戒情報、市内の被害情報や避難所情報など、災害情報についてお知らせします。



●登録用メールアドレス kusatsu-touroku@sg-m.jp

●草津市公式LINE

イベントや市政情報、災害時の緊急情報など、草津市からのお知らせを配信します。



●アカウント名

草津市／LINE ID：@kusatsucity

●しらしがメール

防災・防犯等の情報をはじめとする滋賀の安全・安心のための情報が、電子メールに配信されます。



●登録用メールアドレス

entry@pref.shiga-info.jp

※空メールを送信してください。

●屋外スピーカー電話自動応答装置

屋外スピーカーから拡声している内容を聞き取れなかった方やパソコンなどの操作が苦手な方のために、下記電話番号へダイヤルしていただくと、拡声内容が電話で確認できる装置を設置しています。

●電話：0120-119-932（フリーダイヤル・通話料無料）

●エリアメール・緊急速報メール

気象庁が配信する緊急地震速報、国や地方公共団体が配信する災害・避難情報を、緊急性が高い多くの方へ迅速に提供するため、NTTドコモの「エリアメール」、KDDI(au)、ソフトバンク、楽天モバイルの「緊急速報メール」に対応しているスマートフォン等へ、一斉に配信します。事前の登録は不要で、受信は無料です。

●えふえむ草津(FM78.5MHz)

有事の際には、えふえむ草津の放送で屋外スピーカーからの拡声情報と同様の音声ラジオやカーステレオなどで流れます。さらに、インターネットラジオの運用も開始されており、インターネット環境のあるパソコンやスマートフォンで、えふえむ草津のラジオ放送を聞くことができます。

●NHKデータ放送「d」ボタン

滋賀県と県内市町、さらには、NHK大津放送局と災害情報システムが連携しており、各市町の避難情報を地デジのデータ放送で確認することができます。データ放送では、地震情報や河川の水位情報なども見ることができます。ぜひ一度、テレビリモコンの「d」ボタンを押してみてください。

●キキクル(警報の危険度分布)

気象庁が提供する「キキクル(警報の危険度分布)」は、大雨警報や洪水警報が発表されるような重大な災害が発生する恐れのある状況で、住まいのある地域の危険度の高まりを5段階の色分けで地図上に表示し、警戒を呼びかけるための情報です。

土砂災害警戒区域や洪水浸水想定区域等に住まいのある人は、「キキクル」で土砂災害や浸水害、洪水災害の危険度の高まりを確認しながら、命を守るため、早めの避難行動の判断に役立てましょう

気象庁 キキクル

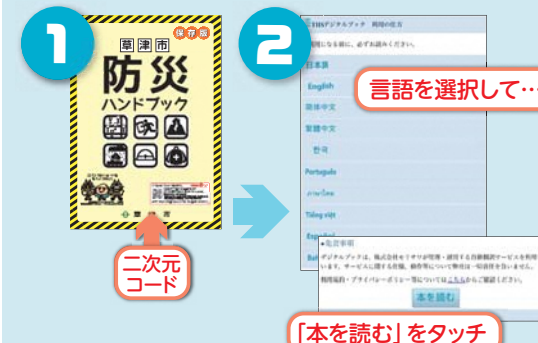
検索

デジタルブックサービスガイド

冊子に印刷された二次元コードを読み取ることで、スマートフォンやタブレット、パソコン等のマルチデバイスで冊子の電子データ(デジタルブック)を閲覧できるサービスです。自動音声読み上げ機能が付いていますので、ぜひ、ご活用ください。

デジタルブックサービスの使い方

デジタルブックへのアクセス方法



冊子に印刷された二次元コードをスマートフォンやタブレットで読みとります。まずは、THSデジタルブック利用の仕方のページが表示されます。ご一読のうえ、ページ下の「本を読む」ボタンをタッチしてデジタルブックを表示してください。

デジタルブックが表示されます



多言語対応の場合、言語選択画面が表示されますので、読みたい言語を選択します。日本語読み上げ対応の場合は、冊子の表紙が表示されます。最初は翻訳された文章が表示されません。まずは日本語のまま冊子が表示されます。右下の文字ボックス表示ボタンを押すと、選択した言語に翻訳された文章が表示されます。

「メニュー」→「テキストイベント」でポップアップが読み上げを選択します



読みたい箇所をタッチすると、選択した箇所が拡大表示されます。聞きたい箇所をタッチすると、選択した箇所を自動で読み上げます。

※このサービスは、既に多くの自治体や企業で導入されている株式会社モリサワが管理・運営する自動翻訳サービスMC Catalog+を利用しています。

閲覧推奨環境

ご利用の端末環境(OS、ブラウザのバージョン等)によっては正常に動作しない場合があります。閲覧推奨ブラウザは以下のとおりです。

・Windows : Microsoft Edge、Firefox、Google Chrome 最新版

・macOS : Safari、Firefox、Google Chrome 最新版

情報の受信などにかかる通信料は利用者の負担となります。Wi-fi環境での閲覧をお勧めします。

また、OS、ブラウザのバージョンによって読み上げ方が異なったり、一部読み上げされない場合もございます。あらかじめご了承ください。

免責事項

外国語に関しては、5言語を翻訳し直したものに置き換えておりますが、デジタルブックは、株式会社モリサワが管理・運営する自動翻訳サービスの機能を利用しています。サービスに関する仕様、動作等について草津市は一切責任を負いません。

日本は世界有数の地震国

平成23年3月11日には東日本大震災により18,000人以上の死者・行方不明者が発生しています。平成28年4月14日と16日には、熊本県熊本地方で震度7を2度記録する地震が起きました。そして、平成30年6月18日には、大阪府において震度6弱を記録した「大阪府北部地震」が発生。多数の負傷者が出ただけでなく、朝の通勤時間に発生したことで関西地方の交通機関がマヒし、多くの帰宅困難者が生まれるなど、二次的な被害も起きました。

また、同年9月6日には北海道胆振東部を震源とする地震が発生し、震度7を観測しました。この地震では震源近くの苫東厚真発電所が停止し、送電線故障に伴う水力発電所の停止も重なって道内全域が停電する「ブラックアウト」が大きな話題となりました。

草津市に被害をもたらす恐れがある2つの地震

草津市にとって特に考慮すべき地震は、「琵琶湖西岸断層帯による地震」と「南海トラフ巨大地震」です。

琵琶湖西岸断層帯による地震が発生した場合、草津市全域はほぼ震度6強以上となり、比較的地盤の軟弱な琵琶湖沿岸部を中心として最大震度は震度7となります。

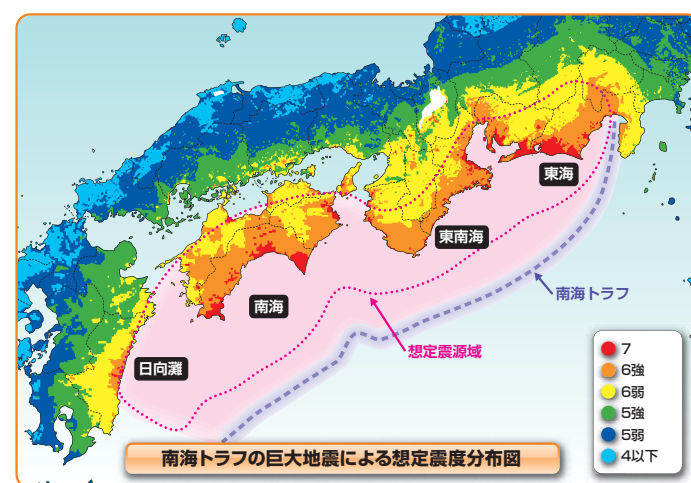
また、市域の各所で液状化が発生する可能性が高くなっています。

南海トラフ巨大地震が発生した場合、草津市全域はほぼ震度6弱以上となり、最大震度は震度6強となります。また、市域の各所で液状化が発生する可能性が高くなっています。

●南海トラフ地震

(出典：中央防災会議資料)

●琵琶湖西岸断層帯地震



地震被害想定

		琵琶湖西岸断層帯地震 (市内最大震度7、冬深夜)	南海トラフ巨大地震 (市内最大震度6強)
人的被害	死者数	約500人	約50人
	負傷者数	約5,000人	約1,000人
	避難所生活者数 (1日後)	約1万6,000人	約3,000人
建物被害	全壊棟数	約1万棟	約1,000棟

資料：「平成27年草津市防災アセスメント調査＜地震被害想定＞」
「草津市地域防災計画～震災対策編」より

地震の揺れと想定される被害

震度0	●人は揺れを感じない。	震度5弱	●棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。 ●まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。 ●電柱が揺れているのがわかる。
震度1	●屋内で静かにしている人の中には、わずかな揺れを感じる人がある。	震度5強	●物につかまらなさと歩くことが難しい。 ●固定していない家具が倒れることがある。 ●自動車の運転が困難になる。
震度2	●屋内で静かにしている人の大半が揺れを感じる。 ●つり下がった電灯などがわずかに揺れる。	震度6弱	●立っていることが困難になる。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ●耐震性の低い木造住宅では、倒壊するものもある。
震度3	●屋内にいる人のほとんどが揺れを感じる。 ●棚にある食器類が音を立てることがある。 ●電線が少し揺れる。	震度6強	●はわないと動くことができない。 ●固定していない家具のほとんどが移動、倒れるものがある。 ●耐震性の高い木造住宅でも、壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。
震度4	●ほとんどの人が驚く。 ●つり下げたものは大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。 ●車を運転していて、揺れに気づく人がある。	震度7	●揺れにほんろうされる。 ●ほとんどの家具が移動し、飛びものもある。 ●耐震性の高い木造住宅でも、まれに傾くことがある。

地震が起きたらどうするか？



大きな地震が発生したら、冷静に対応するのは難しいもの。しかし、一瞬の判断が生死を分けることもあります。

地震が起きても「あわてず、落ち着いて」行動するために、以下の行動パターンを覚えておきましょう。

地震発生

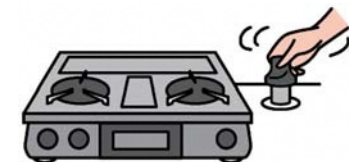
- 落ち着いて、自分の身を守る
机の下などへもぐる。倒れてくる家具や落下物に注意を。
- 火の始末はすばやく
コンロの火を消し、ガスの元栓を閉める。無理はしない。
- ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する



1～2分

山・がけ崩れの危険が予想される地域はすぐ避難

3分



- 火元を確認、出火していたら初期消火
- 家族の安全を確認
- 靴をはく
ガラスの破片などから足を守る。
- 非常持出品を手近に用意する
- 子どもを迎えに
保育所(園)・幼稚園・こども園や小中学校に子どもを迎えに行く。
自宅を離れるときには、家族で決めた場所に、行き先を書いたメモを隠す(空き巣対策)。
- さらに出火防止を
ガスの元栓を閉め、電気ブレーカーを切る(通電火災対策)。
- 「一次集合場所」に集合し、点呼

- 隣近所の安全を確認
特に一人暮らし高齢者など要配慮者がいる世帯には積極的に声をかけ、安否を確認する。火が出ていたら大声で知らせ、協力して消火をする。
- 余震に注意
大きな地震の後には余震が発生する。

5分

- ラジオなどで情報を確認
間違った情報にまどわされないように。
- 電話はなるべく使わない
- 家屋倒壊などの恐れがあれば避難する
ブロック塀やガラスに注意。
車は使用しないこと(山岳部などの一部地域を除く)。



5～10分

10分～数時間

～3日くらい

避難生活では



- 消火・救出活動
隣近所で協力して消火や救出を。
あわせて消防署等へ通報する。
- 生活必需品は備蓄でまかなう
災害発生から3日間は、外からの応援は期待できない。
- 災害情報、被害情報の収集
市の広報に注意する。
- 壊れた家には入らないこと
- 引き続き余震に警戒する

- 自主防災組織を中心に行動を
- 感染予防対策を行う
- 衛生管理に注意を払う
- 集団生活のルールを守る
- 助け合いの心を

A

X

大きく揺れている間に火元に近づくのは危険。無理をして火を消そうとすると、大やけどをすることもあります。まずは自分の安全を確保して、揺れがおさまってから火を消しましょう。

防災
○×クイズ

Q

料理中に地震が発生！火災がこわいので、とにかく火を消すことを優先すべきだ。

地震対策

屋内にいる場合 ～とっさの状況

自宅では

料理中

- 揺れを感じてすぐに火を消せるときは、火を消しましょう。
- 大きな揺れの場合は身を守ることを最優先に。大揺れを感知すると自動的にガスの供給を遮断するガスマイコンメーターの設置が進んでいるので、決して無理をしないでください。
- 台所には食器棚や冷蔵庫、コンロ上の鍋など、危険がいっぱい。なるべく早く台所から離れましょう。



寝ているとき

- ふとんやまくらで頭を守り、ベッドの下など、家具が倒れてこないところに身をふせます。
- 暗やみでは、室内の様子を把握しにくくなります。普段から、まくら元にはスリッパや懐中電灯、携帯ラジオなどを。



お風呂やトイレに入っているとき

- 風呂場やトイレは比較的安全な場所といわれています。あわてて飛び出さず、ドアや窓を開けて出口を確保しましょう。
- タイルなどの落下物に注意する。
- お風呂に入っているときは、落ち着いてボイラーの火の始末をしましょう。



集合住宅では

- 家具などで出口がふさがれないように注意。ドアを開けて逃げ道を確保します。
- 玄関から避難できないときには、避難ばしごやロープを利用してベランダから脱出します。エレベーターは使わないこと。



学校・幼児施設・勤務先では

学校にいるとき

- 先生や校内放送の指示に従いましょう。
- 教室にいるときは、すぐ机の下にもぐり、机の脚をしっかりと持ちます。
- 本棚や窓から離れ、安全な場所に移動しましょう。



職場にいるとき

- 窓際やロッカー、資料棚などから離れて、机の下などに入り身を守ります。
- 揺れがおさまったらガス湯沸かし器などのスイッチを切るなど、火元を確認しましょう。

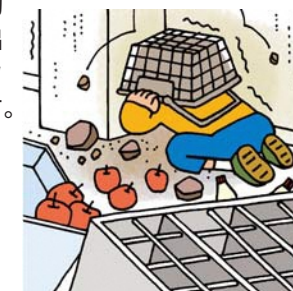


判断が、生死を左右します～

外出先では

デパート・スーパーにいるとき

- ショーケースの転倒、商品の落下、ガラスの破片に注意。柱や壁際に身をよせ、衣類や手荷物で頭を守りましょう。
- 店員の指示に従って行動しましょう。あわてて出口に殺到すると、パニックになることがあり危険です。



エレベーターの中

- 地震時管制装置がついているエレベーターは、自動的に最寄りの階に停止するので、停止した階で降ります。装置がついていなければ、すべての階のボタンを押し、停止した階で外に出ます。
- (注)地震時管制装置は最寄りの階に停止しないこともあるので、装置の有無を問わず、すべてのボタンを押す。
- 閉じ込められたとき、天井などから無理に脱出するのは危険。非常ボタンやインターホンで連絡をとり、救出を待ちましょう。



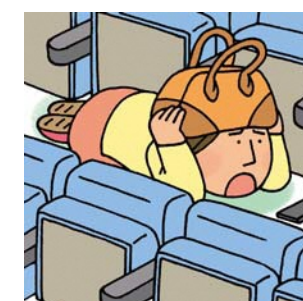
地下街にいるとき

- 地下街は比較的安全といわれています。大きな柱や壁に身をよせ、揺れがおさまるのを待ちます。
- 地下街には約60mおきに出口があるので、あわてないで行動する。
- もし火災が発生したら、ハンカチなどで鼻と口をおおい、壁づたいに体を低くして地上に避難しましょう。



劇場や映画館にいるとき

- 座席の間にうすくまり、カバンや衣類で落下物から頭を守りましょう。
- 頭上に大きな照明などがある場合には、その場から移動しましょう。
- 閉ざされた空間ではパニックにおちいりがち。あわてず、係員の指示に従いましょう。



屋外にいる場合

歩いているとき

繁華街にいるとき

- ガラスや看板、ネオンサインなどの落下物に注意。手荷物などで頭を守り、広場などへ逃げましょう。
- 建物や塀、電柱などから離れましょう。自動販売機の転倒にも注意しましょう。



住宅街にいるとき

- ブロック塀や石壁、門柱から離れましょう。倒壊の危険があります。
- 屋根がわらなどの落下物に注意しましょう。
- 切れて垂れ下がっている電線には近づいて触らないように。



橋の上にいるとき

- 橋や歩道橋の上にいるときには、振り落とされないように手すりやさくをしっかりつかまりましょう。
- 橋は倒壊の恐れがあります。揺れがおさまったら即座にその場を離れましょう。



がけ付近にいるとき

- がけを背にした家屋では、普段からがけから離れた部屋を生活の中心にしましょう。とっさに外に逃げ出せるよう室内の避難通路を確保することも忘れずに。



こんなところにいたら

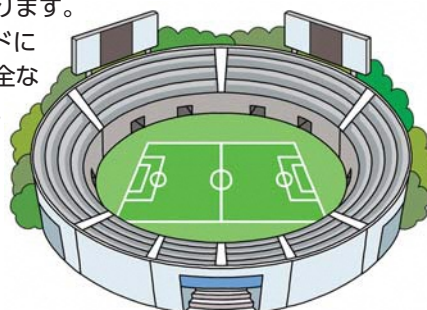
駅のホームにいるとき

- 掲示板や看板などの落下物に注意。
- 改札口に殺到するとパニックになります。大きな揺れがおさまるまで、近くの柱に寄り添い、構内アナウンスに従いましょう。



スタジアムにいるとき

- 出入り口に大勢が殺到すると、将棋倒しなどに巻き込まれる危険性があります。また、グラウンドに逃げるほうが安全な場合もあります。

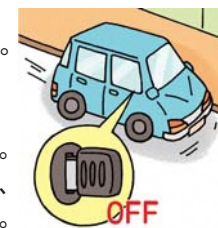


乗り物に乗っている場合

自動車などに乗っているとき

車の運転中

- 急ブレーキは重大事故の原因になります。ハンドルをしっかり握って徐々にスピードを落とし、道路の左側に停車してエンジンを切りましょう。
- 揺れがおさまるまで車外には出ず、カーラジオなどで情報を確認しましょう。
- 車を置いて避難する場合は、できるだけ道路外の場所に移動します。
- やむを得ず道路上に車を置いて避難するときは、窓を閉め、キーをつけたまま（もしくは置いたまま）で避難します。緊急時に移動させることもあるので、ドアロックもしないようにしましょう。



バスに乗っているとき

- 座っている場合は前かがみになって、前の座席の背もたれをしっかりつかみます。
- 立っている場合は、つり革やシートの手すりをしっかり握るか、しゃがみこんで座席の脚にしがみつくようにしましょう。
- 揺れがおさまってもあわてて外に飛び出さず、運転手の指示に従います。



電車に乗っているとき

電車に乗っているとき

- 電車は揺れを感じると、自動的に停車します。将棋倒しや網棚からの落下物に注意し、つり革や手すりにしっかりつかまりましょう。
- 座っているときは、足をふんばって上体を前かがみに。雑誌やバッグなどで頭を保護しましょう。
- 勝手に降車せず、係員の指示に従いましょう。



地下鉄に乗っているとき

- 地下鉄は比較的安全だといわれています。揺れを感じたら、つり革や手すりにつかまって、転倒しないように注意しましょう。
- むやみに線路に降りると高圧電流により感電する恐れがあるので、落ち着いて係員の指示を待ちましょう。



新幹線に乗っているとき

- 新幹線は、地震を感知して走行を止める際、停車による大きな衝撃を受けます。瞬時に前かがみになって、落下物から頭を守るようにしましょう。
- 通路に立っている人は、放り出されないように座席の取っ手をしっかり握るか、しゃがみこんで座席にしがみつくようにします。



車で避難しないように

地震発生時は、消防車などの緊急車両の通行を確保することが大切です。みんなが車を使って避難すると、緊急車両や避難する人たちのじゃまになり、混乱を大きくしてしまいます。山間部の土砂災害警戒区域や歩行困難な高齢者や病人のいる家庭など、どうしても車を使わなければならない場合以外は、徒歩で避難しましょう。



地震にどう備えるか？

大地震の発生に備えて、建物や土地の安全性など、私たちの身のまわりにどんな危険箇所があるのかをチェックし、事前に安全対策をしておきましょう。建物の耐震化や家具の転倒防止対策は、私たちの命を守る最も有効な手段です。



地震に強い家をつくらう

地盤は？

- 地盤が弱いと、地面が変形する液状化現象や建物の倒壊などの被害が発生しやすくなります。自分の住んでいる土地がどんな地盤なのかを確認しましょう。



建物は？

- 住んでいる家屋の耐震度を確認しましょう。草津市では、昭和56（1981）年5月31日以前に建てられた住宅などを対象に耐震診断の支援事業を行っています。詳しくは、お問い合わせください。

問い合わせ先：都市計画部 建築政策課 建築指導係 電話：077-561-2378

- 木造住宅の場合、白アリ被害などで木材が腐っている場合があります。点検し、必要があれば修理をしましょう。



地震によってこんな被害が起こります

一戸建て

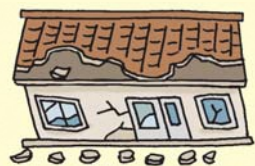
古い平屋建ての倒壊



1階部分の崩壊



かわらの落下



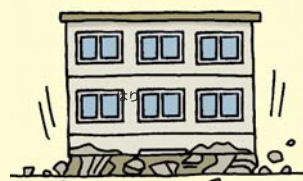
外装材の落下



ビル・マンション

ピロティ※の崩壊

1階部分が崩壊する



柱・梁接合部の破断



柱に斜めにひび割れ

建物が大きく傾く



補強ブレース(支柱)の破断



※ピロティとは、1階が駐車場や玄関など壁が少なく空いている部分のこと

家の内外の危険箇所をチェックしよう

1 家の中に、家具のない安全なスペースを確保する

部屋が複数ある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置きましょう。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換えをしましょう。



2 寝室や子ども、高齢者、病人のいる部屋には倒れそうな家具を置かない

就寝中に地震が発生した場合、子ども、高齢者、病人などは倒れた家具が妨げとなって逃げ遅れる可能性があるため、十分に注意しましょう。



屋内

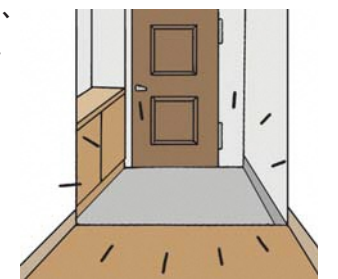
3 家具の転倒や落下を防止する対策をとる

家具と壁や柱の間にすき間があると倒れやすく危険です。また、家具の上に落ちる危険のあるものを置かないようにしましょう。（14・21ページを参照）



4 出入り口や通路には物を置かない

安全に避難できるように、玄関など出入り口までの通路に、家具や倒れやすい物を置かないようにしましょう。また、いろいろな物を置くと、いざというときに出入り口をふさいでしまうこともあります。

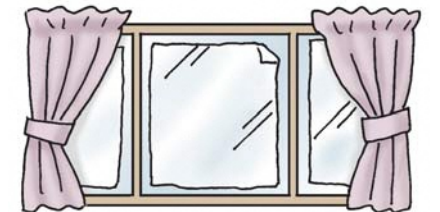


ベランダ

- 植木鉢や物干しざおなど、落下の危険性があるものは防止策を取りましょう。
- ベランダから避難できるように常に整理整頓しましょう。

ガラス

- 飛散防止フィルムを貼りましょう。
- 食器棚や額縁などに使われているガラスにも飛散防止フィルムを貼っておきましょう。



屋外

屋根

- アンテナはしっかりと固定しましょう。
- 屋根がわらのチェック。ひび割れ、ずれ、はがれがある場合は補強しましょう。

ブロック塀

- 土中にしっかりと基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは補強しましょう。
- ひび割れや傾き、鉄筋のさびがある場合は修理しましょう。

プロパンガス

- ボンベを鎖でしっかり固定しておきましょう。



A



災害が起こったときは、みんながパニックにおちいりがちです。人のうわさは、正しい情報を伝えていないこともあるので、ラジオや公共機関が発表する情報を頼りに行動しましょう。

防災
○×クイズ

Q

災害時には、近くにいる人のうわさではなく、テレビ・ラジオなどの情報を頼りにする。

家具の転倒・落下を防止しよう

収納に工夫を

- 重いものは下に、軽いものは上に収納しましょう。
- 本棚などは、すき間をブックエンドで固定するなど、なるべく空間を作らないようにしましょう。



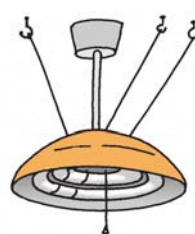
置き方に工夫を

- 家具の下部の前方に板を入れ、壁にもたれ気味に置きましょう。
- 就寝場所に家具が倒れてこないように配置しましょう。



照明器具の補強を

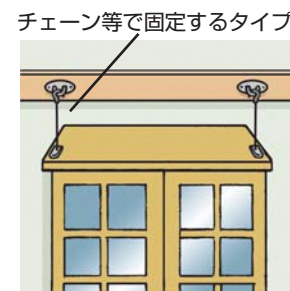
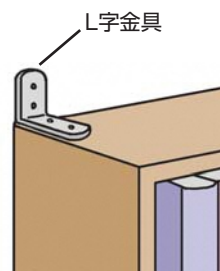
- 天井に直接取り付けるタイプの照明が安全です。
- つり下げ式のものは、鎖と金具を使って数か所留めて補強しましょう。
- 蛍光灯は蛍光管の落下を防止するため、両端を耐熱テープで止めておきましょう。



耐震金具を利用しよう

●転倒防止金具

壁・柱・鴨居と家具を固定するタイプと、床などに固定するタイプとがあります。家具や室内の状況によって選びましょう。



●重ね留め用金具

重ねた上下の家具を固定し、上の家具の落下を防ぎましょう。



●扉・引き出し開放防止金具

扉・引き出しが開かないようにしましょう。

さらに、収納物の落下を防止するために、棚板に滑り止め用のふきんなどを敷いたり、木やアルミの棒による飛び出し防止枠を付けると安心です。



冷蔵庫などの家電製品には専用の転倒防止金具が用意されている場合があります。取扱説明書を読んで活用を。

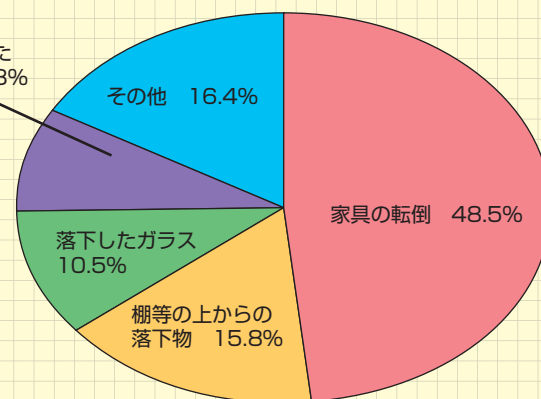
家具が転倒するとどうなるの？

建物が無事でも家具が転倒すると、その下敷きになってけがをしたり、室内が散乱することにより逃げ遅れてしまう場合があります。家庭での被害を防ぎ、安全な逃げ道を確保するためにも、家具の転倒・落下防止対策を実践しておきましょう。



逃げようとしたとき転倒 8.8%

●阪神・淡路大震災でけがをした人の原因



(神戸市消防局調査より)

家族で話し合っておくことは？

実際に地震が発生したときのことを想定して、各自ですべきことや避難方法、連絡方法などを家族で話し合っておきましょう。



1 役割分担を決める

- 日常の予防対策上の役割と地震発生時の役割を決めておきましょう。
- 高齢者や乳幼児などがいる場合は、保護担当を決めましょう。



2 危険箇所をチェック

- 家の内外をチェックして、危険箇所をさがしましょう。
- 危ない箇所は、修理や補強方法について話し合いましょう。



3 安全な空間を確保

- 家具の配置換えをして、家の中に安全なスペースを確保しましょう。
- 家具の転倒・落下を防ぐ方法を決めましょう。



5 防災用具などの確認

- 消火器や救急箱、非常用品の置き場所を確認しましょう。
- 消火器の使い方を覚えておきましょう。
- 応急手当の方法を覚えておきましょう。



4 非常持出品のチェック

- 必要な非常持出品がそろっているか確認しましょう。
- 定期的に保存状態や使用期限を点検・交換しましょう。



6 連絡方法や避難場所の確認

- 家族が離ればなれになったときの連絡方法や避難場所を確認しましょう。
- できれば休日などを利用し、みんなで避難経路などの下見をしておきましょう。
- 防災連絡カードを作り、携帯しておきましょう。

災害用伝言ダイヤル

「171」を覚えておこう！

災害時は一般の電話がつながりにくくなります。安否の確認などには、NTTの災害用伝言ダイヤルサービスを活用しましょう。

災害用伝言ダイヤルの使い方

伝言を吹き込む 1 7 1 → 1 → (000) 0000-0000 → 伝言を入れる(30秒以内)
伝言を聞く 1 7 1 → 2 → (000) 0000-0000 → 伝言を聞く

※音声ガイダンスに従って操作してください。

●伝言を録音する場合は被災地の人は自宅や携帯電話などの電話番号を、伝言を再生する場合は被災地以外の人には被災地の人の番号を(市外局番から)

※携帯電話会社各社は、災害時に安否情報を登録・確認できる「災害用伝言板サービス」を提供します。

防災
○×クイズ

Q

家具は中に物をたくさん入れて重くしておけば、地震が起きても倒れる心配はない。

A

X

重そうに見えるタンスなども、地震が起きたら倒れてしまいます。実際に家具の転倒により死亡するケースもあります。家具の転倒防止対策をきちんと行っておきましょう。